

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月13日

事業所名 ことばの教室 ことのは2号館

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	8			訓練等の目的に 応じて部屋が分 けられている	
	2	職員の配置数は適切である	7	1		利用者1対1に て対応を行って いる	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	7		1	周りを見ない、又は 周りを見ながらでも 危機的予知ができ ない児童が角や壁 などにぶつかって も怪我が無いよう にクッション材を付 けている	2階建てである為バリアフリーに適してい ない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	7		1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている		4	4		今年度開所したばかりである為、今後より業 務改善に繋げていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している		3	5		今回より実施
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	6	1	1	定期的にスー パーバイザーとし て視察が行われ 助言・指導が行 われている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	7		1	適宜研修の情報 や機会の提供を 行っている	
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	7	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	7	1		現在はKIDSを 使用しているが、 来年度より他検 査を導入予定	
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	7	1			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	7	1		児童の希望に合 わせて活動を行 う(利用者の発達 段階の領域に基 づいた活動を適 宜行う)	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	7	1		利用者の生活に 必要なこと、学 習や発達面で必 要な事を設定し療 育を行っている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	6	2			個別訓練が主である為、集団での活動は少 ない
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	6	2		終礼時に次回の 支援について確 認を行っている		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1		毎日終礼を行い 情報共有を行う	午前中だけの職員のために午前中の終礼も 行って欲しいという要望があり検討している
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1		担当者会議にて 他事業所との情 報共有に努め、 事業所内では担 当者会議・モニタ リングの議事録 内容を確認して 共有を行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	2			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1		送迎やノートを通して情報共有をしている、又それを保護者とも話して改善に努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	2		必要に応じて契約時に保護者から主治医について情報を提供してもらおう事があり、訪問看護との連携を行っている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1		担当相談支援専門員を通して間接的にはあるが過去の情報を提供してもらうことがある	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1	2		現在対象者なし(今年度開所であり、情報の提供はなく今後必要時には情報提供を実施していく)
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	1	運動保育士等の研修会への参加がある	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	6		兄弟児との関わりはあるが事業所間での交流はない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4	3		今後実施予定(コロナ渦の為、広報誌や電話での情報を頂いている)
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1		日々の訓練や活動の状況を送迎などに報告し情報の共有を図っている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		6	2		当日の様子を伝える時に関わりの方についても話すプログラムとして組んではいない
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		契約時に説明を行う	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	7		保護者会の実施は無いが、送迎時に家族観交流は見られている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8				今現在苦情はないが、あった際はその都度対応していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		1	ブログ等にて情報を発信している	
	35	個人情報に十分注意している	7	1		情報流出防止の為の行動などは共有している	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	5			現在はしていないが、避難訓練なども地域の方々と一緒に出来たらと思っている
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		1	半年毎に火災訓練を実施しており、今後は不審者訓練の実施を検討している	曜日によって利用者が違う為、ほとんどの利用者は行っていない
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		1	研修を受けた管理者より全職員への周知を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		1		現在対象者はいないが、必要があれば対処していく(終礼にてどのような事例を話し必要に応じて個別支援計画書に記載していく)
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		1	7	食事提供はないが、御家族へ確認を行っている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			単一事業所だけでなく会社全体として共有している	